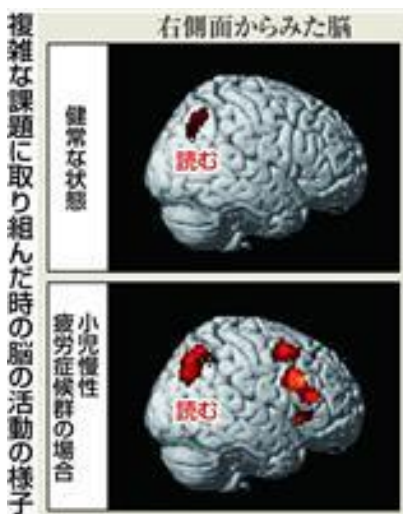


大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2740 号 2015.11.25 発行

小児慢性疲労症候群 「脳の働きすぎ」画像診断で判明 産経新聞 2015年11月24日



慢性的な疲れや倦怠（けんたい）感が続き、早寝早起きができなくなるなど日常生活にも大きな影響を及ぼす「小児慢性疲労症候群」。その患者の脳を調べたところ、複雑な課題を処理する際に過剰に神経が働き、疲労を増していることが、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター（神戸市）の研究で明らかになった。小児慢性疲労症候群は不登校との関連が指摘されており、脳の過活動を抑えるなど脳科学の視点からの新たな治療法の開発が期待される。（坂口至徳）

複数課題で活性化

国際慢性疲労症候群学会の診断基準によると、小児慢性疲労症候群は、慢性の疲労や倦怠感が3カ月以上続き、安静にしても回復せず、教育や社会活動の面での機能が著しく低下する疾患とされる。階段を上ったり、読書したりといった軽い作業でも急速に疲労する。また体の痛みや、早寝早起きができないといった睡眠のリズム障害などの症状もある。

同センターの研究グループは、小児慢性疲労症候群の発症の仕組みなどを解明するため、まず特徴的な症状である「同時に複数の課題を処理する際に注意配分機能が低下する」ことに注目。その時の脳の働きを調べることにした。

小児慢性疲労症候群の生徒15人、健常の生徒13人を対象に、複雑なテストを実施。「まりこは」「みつめた」「あおい」「うみを」などと、ひらがなの言葉を次々と表示し、文章の内容を理解しているかを調べるとともに「母音が含まれているか」についても質問。2つの課題を同時にこなす際、脳の働きがどう変化するかを、脳の活動状態を表示する機能的磁気共鳴画像診断法（fMRI）を使って調べた。

その結果、健常の生徒は脳の左側の前頭葉など2カ所で効率的に情報を処理していた。ところが、小児慢性疲労症候群の生徒は、左側だけでなく右側の前頭葉など計6カ所の部位を活性化させていた。

有病率2・3%

研究を行った、同センターの水野敬上級研究員によると、課題を処理する脳の活動部位が広範囲にわたっているため、過剰に脳神経が働いて、さらに疲労が増すと考えられるという。小児慢性疲労症候群の子供は、疲労により脳の機能が低下しているというよりは、脳の機能が低下するのを補おうとして、脳を過剰に活動させている可能性があるという。

厚生労働省の研究班によると、小児慢性疲労症候群の有病率（国内の小中学生）は0・2～2・3%。不登校との関連も指摘されており、不登校児の60～80%が小児慢性疲労症候群の診断基準を満たしている、という見方もある。渡辺恭良センター長は、「睡眠をしっかりとりなどして疲労回復することで脳の過活動を抑えたり、サプリメントなどを投

与し脳神経にエネルギーを供給することで機能回復を早めたりするなど、今後は治療法の研究を続けていきたい」としている。

■睡眠指導による改善で不登校激減

小児慢性疲労症候群の原因の一つに、睡眠不足があると見られる。睡眠指導を行って慢性疲労を改善し、不登校を減らす取り組みも行われている。卒業生の不登校が多いことを問題視した福井県若狭町の三宅小学校では、兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センターの三池輝久特命参与の指導の下、平成21年から全校児童を対象に睡眠調査と睡眠指導を実施。就寝時間と起床時間を記録させカウンセリングを行うなどして児童の睡眠状態を改善したところ、卒業生の不登校が激減したという。この成果を受け、全国の7つの自治体で中高生の睡眠など生活習慣指導の実証研究が行われている。

【小児慢性疲労症候群の国際診断基準（概要）】

●少なくとも3カ月以上、睡眠や休養によっても改善しない疲労状態が続くため、日常生活が障害される。

●甲状腺機能障害など一般的な医学検査では、異常が出ない。

●以下の5項目の症状があり中程度以上である（1）《労作後疲労》階段を上る、本を読むなどの行為の後の身体・認知力疲労。回復が遅い。（2）《睡眠》過眠型睡眠、毎日居眠り、寝付けない、昼夜逆転などのうち1つの症状。（3）《疼痛（とうつう）》筋（筋膜）痛、関節痛、腹痛、胸部痛、眼痛、吐き気・嘔吐（おうと）のうち1つの症状。（4）《認知機能》記憶障害、集中力低下、理解が悪い、関心のなさ、などのうち2つの症状。（5）《他の症状》自律神経症状（ふらつくなど）、神経内分泌症状（四肢冷感、微熱など）、免疫症状（炎症を伴わないのどの痛みなど）のうち1つの症状。

温暖化で子ども7億人 洪水や干ばつの危険に NHKニュース 2015年11月25日

フランス・パリで来週から開かれる地球温暖化対策の国連の会議COP21を前に、ユニセフ＝国連児童基金は、温暖化の影響で7億人近くの子どもたちが洪水や干ばつの危険にさらされていると警告する報告書を公表しました。

ユニセフ＝国連児童基金は24日、報告書を公表し、地球温暖化の影響で、洪水が起きる可能性が高い地域に住む子どもたちが5億3000万人、干ばつが起きる可能性が高い地域に住む子どもたちが1億6000万人いると推計し、合わせて7億人近くの子どもたちが危険にさらされていると警告しました。

このうち、洪水が起きる可能性が高い地域は、インド北部や中国南部などアジアに集中しているほか、干ばつが起きる可能性が高いのは、エジプトなどの北アフリカだとしています。そのうえで、これらの地域では、食糧不足による栄養不良やマラリアや下痢といった病気の流行などが懸念されると指摘しています。

ユニセフは「喫緊の行動が必要とされていることを裏付ける結果だ」として、来週からパリで開かれるCOP21で、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減に向けた国際的な合意の必要性を訴えました。

COP21を巡っては、国連の別の機関が、気象災害による死者がこの20年間で60万人を超えたとする報告書をまとめて対策を求めています。

非正規雇用の女性 6割が産休取れず NHKニュース 2015年11月25日

パートや派遣社員など非正規雇用の女性のうち、妊娠した際に退職させられるなどして産休を取れなかった人が6割に上ることが、NPOのアンケート調査で分かりました。

このアンケート調査は、NPO法人の「マタハラNet」がことし9月にインターネットで行ったもので、パートや派遣など非正規雇用で働いている時に妊娠した20歳から50歳までの女性158人が回答しました。その結果、妊娠した際、産休を取れなかった人

は94人で6割近くに上りました。

働く人が希望した場合、企業には産休を取得させることが義務づけられていますが、「マタハラを受けて退職に追い込まれた」とか「上司から『非正規雇用の社員は産休を取れない』と言われた」という理由で取得できなかった人が多かったということです。また、回答した人の8割に当たる128人が出産後も仕事を続けたいと考えていましたが、産休と育休を取得して職場に復帰できた人は31人とどまりました。

マタハラNetの小酒部さやか代表は、「非正規雇用というだけで産休すら取得できない現状があり、格差を改善するため法律を改正して非正規雇用の女性にも子どもを産みやすい環境を作ってほしい」と話しています。

糖尿病と認知症の悪循環を断て アピタル・里直行、アピタル・綿田裕孝

朝日新聞 2015年11月25日

これから数か月にわたり、タイトルにあります「糖尿病予防は認知症予防」というテーマで大阪大学の里 直行（さと・なおゆき、認知症と老年医学が専門）と順天堂大学の綿田裕孝（わただ・ひろたか、糖尿病が専門）がお話を進めてまいります。実は二人は後輩（里）・先輩（綿田）としてラグビー部で一緒にスクラムを組んでいた実績（！？）があります。みなさんもぜひ、我々と一緒にスクラムを組んで、「糖尿病予防は認知症予防」に取り組んで頂けましたら幸いです。

●糖尿病ほど認知症になりやすい

まずは、実際に私たちが接している典型的な患者さんの例をご紹介します。

Aさんは60代の女性。以前はそうでもなかったのですが、だんだんと食事の量が増えていきました。それまであまり医者にかかったことがありませんでしたが、よく喉が渇くため、近所のお医者さんに診てもらうことにしました。検査をしてもらったところ、糖尿病であることがわかりました。そして早速、お医者さんから糖尿病の薬を処方してもらいました。数年は調子が良かったのですが、だんだんと注意力が落ちはじめ、またメガネなどものを置いた場所をすぐに忘れてしまうようになってしまいました。さらに2、3年のうちに孫の顔もわからないようになってしまい、認知症の専門医に診てもらったところ、こんどは認知症と診断されました。

この方の場合、おそらく糖尿病が以前からあって、それに認知症の発症が促進されたものと考えられます。

脳の病気である「認知症」と、全身の病気である「糖尿病」。この二つの病気がどう関係しているの？ そんな疑問を持たれる方もおられるでしょう。すこしずつ、解説していきましょう。

まず、最初にこの関係が指摘されたのは1990年代後半からです。地域の住民を対象に、健康状態などを長い時間かけて調べる「観察研究」という手法を通してわかってきました。オランダの「ロッテルダム・スタディー」、福岡県の「久山町研究」といった調査が有名です。

ロッテルダム・スタディーでは、糖尿病の人は後にアルツハイマー病を起こす確率が糖尿病でない人の2～4倍高いことが報告されました[1]。久山町研究でも、耐糖能異常（血糖をうまくコントロールする能力の異常）があると2～4倍、アルツハイマー病になりやすいと報告されました。これらの結果は複数の研究によって支持されています[2]。

現在、糖尿病は増加の一途をたどっていると報告されています。食事の西欧化や外食産業やコンビニエンス・ストアの発展、さらには様々なインスタント・レトルト食品が出現し、この数十年で日本における食生活が量的にも質的にもがらりと変わってしまいました。この食生活の変化に伴う肥満の増加や高齢化などが原因とされています。2013年の国際糖尿病連合の統計によると糖尿病の人口は世界で3.8億人と10年前に比し、約2倍となっています。また日本での糖尿病患者は720万人と言われており、なんと人口の約6%が糖

尿病ということになります。

糖尿病ってこんなに多いんですね。

一方、認知症もみなさんのご存じの通り、増加を続けています。最近の厚生労働省の調査では現在、日本には認知症の患者さんが 460 万人もおられるという結果でした。これは 65 才以上の 7 人に 1 人が認知症ということになります。さらに認知症になる前の軽度認知機能障害（もの忘れはあるが生活に支障はない状態です）がさらに約 300 万人という報告です。認知症と軽度認知機能障害の二つを合わせると 760 万人です。

よく似た数字が先ほど出てきましたね。偶然ですが、およそ糖尿病患者さんの人口と同じになります。先ほどの観察研究の結果などから考えると、認知症を発症した人のうちある割合で、もともとあった糖尿病が原因の一つとなって、認知症につながった可能性があるということになります。

●根本薬にはまだ時間

現在、認知症になったら、どんな薬があるのでしょうか？

現在のところ、我々の手にある認知症の治療薬は「コリン・エステラーゼ阻害薬というタイプの 3 種類と、「NMDA 受容体拮抗薬」というタイプの 1 種類です。いずれも、どちらかという対症療法的な（原因を取り除くというよりは症状を軽くする）薬になります。

対症療法ではなく、病気のおおもとの原因を取り除く「根本療法」も開発が進んでいます。アルツハイマー病の原因とされている「 β アミロイド」というたんぱく質を取りのぞく抗体療法です（このあたりはいずれ詳しくお伝えします）。実用化への道のりは険しいものですが、最近、ようやく結果に良好な兆しが見え始めてきました[3]。しかし、治療薬として患者さんのもとに届くまでにはおそらくまだ数年以上の年月が必要とされています。

では、新しい根本的治療薬が開発されるまで我々はどうのようにして待てばいいのでしょうか？我々は「糖尿病と認知症」の関係にヒントがあると考えています。

これまでの研究を通して、どのような機序で糖尿病患者さんが認知症になりやすくなるのか、だんだんとわかるようになってきました。また、アルツハイマー病があると食べたことを忘れるため過食(何度も何度も食べて過ぎてしまうこと)になってしまいがちです。過食は糖尿病を悪化させます。すなわち、糖尿病があると認知症が起りやすくなり、認知

症があると糖尿病が増悪するという悪循環が存在するのです[7][8]。

糖尿病とアルツハイマー病の悪循環 (文献[7]より改変引用)

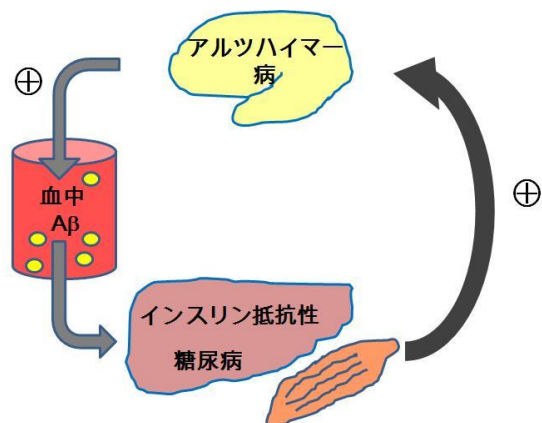
こうした研究成果をもとに、糖尿病を防いだり、糖尿病の進行を抑えたりすることを通して、認知症にかかるリスクも低くできそうなことが明らかになってきているのです。

最近、興味深い結果が北欧から報告されました。

フィンランドの「FINGER 研究」というものです。この研究認知症リスクのある患者さんにおいて運動・食事・認知トレーニング・血管病管理のいずれか一つ（9割は3つ以上の介入に成功）を 2 年続けたところ、認知機能、その中でも特に遂行機能（何かを段取りを立てて行う能力）やものごとを処理するスピードが改善するという報告がなされました[9]。

対戦相手はなかなか手ごわそうです。しかし、「糖尿病予防は認知症予防」に真剣に取り組むことを応援してくれているような結果と思います。

◇



今年のラグビー・ワールドカップでは、エディー・ヘッドコーチのもと、五郎丸選手やリーチ・キャプテン、マーフィ選手など試合に出ている15人のみならず控えの選手を含めて日本が大活躍をしました。これまでラグビーにあまり興味のなかった方々も多くの方がラグビーの試合に熱中したことと思います。ラグビーの精神に「オール フォー ワン、ワン フォー オール (みんなは一人の為に、一人はみんなの為に)」という言葉があります。私たちは、認知症においてもこの言葉が当てはまるのではないかと考えています。医療者と患者、市民のみなさんが一緒に力をあわせて、この病気に立ち向かっていきたいと思うのです。

介護施設利用、国有地の賃料半額に 「1億総活躍」対策 石橋亮介

朝日新聞 2015年11月25日

財務省は24日、国有地を特別養護老人ホーム(特養)などの介護施設に貸す場合に賃料を安くする新たな仕組みの詳細を決めた。東京や大阪など8都府県の国有地について、2016年1月から21年3月末までに賃貸契約を結んだ施設を対象とする。

政府が月内にとりまとめる「1億総活躍社会」の実現に向けた緊急対策に、「介護離職ゼロ」の具体策として盛り込む。

対象地域は、東京、大阪と、神奈川、埼玉、千葉、愛知、兵庫、福岡の6県。社会福祉法人が特養を新設する国有地の賃料を最初の10年間は半額にする。貸し出し可能な土地は、公務員宿舍の跡地など首都圏だけで約90件あるという。

政府、診療報酬引き下げへ 16年度改定で 共同通信 2015年11月24日

政府は24日、医療サービスの公定価格である診療報酬を、2016年度改定で引き下げる調整に入った。診療報酬は税金と保険料、患者負担で賄っており、これらの負担を抑える。マイナス改定は08年度以来8年ぶり。ただ前回改定(14年度)では消費税の増税分を上乗せしており、実質的には2回連続のマイナスとなる。

政府は同日の経済財政諮問会議で、16年度予算編成に関し、厳しい財政状況を踏まえて歳出を聖域なく見直す方針を確認した。

診療報酬は予算編成の焦点の一つ。政府は16年度に始まる財政健全化の計画で、社会保障費の伸びを3年間で計1兆5千億円程度を目安にすることを決定。

遊技提供の介護施設規制 県、神戸市「税金投入適さぬ」 神戸新聞 2015年11月24日

神戸市と兵庫県は今秋、介護予防を目的にパチンコやマージャンなどの遊技を長時間提供するデイサービス(通所介護)施設を規制する全国初の条例を相次いで制定した。「カジノ型」や「アミューズメント型」と呼ばれ、高齢者が楽しみながら利用できる介護施設として注目され、全国で拡大している。なぜ、規制に踏み切ったのか。(木村信行、藤森恵一郎)

今年5月末。アミューズメント型デイサービスを計画する業者が神戸市の介護指導課を訪れた。関西初進出の打診だった。

「実は、それまでアミューズメント型がどういうものかよく知らなかった」と担当者は打ち明ける。

急いで資料を取り寄せ、検討を始めた。

きらびやかな部屋。射幸心をあおる疑似通貨。利用時間の大半をゲームで過ごす一の内容だった。

介護保険制度に基づく通所介護は、利用者の能力に応じ、自宅での自立生活に必要な機能訓練を提供するのが目的だ。同課の中戸欣尚(なかとよしひさ)係長は「ゲームの介護

予防面の有効性は認める。ただ、利用時間の大半をゲームで過ごすのは、税金を投じる制度の趣旨に合わないと感じた」と話す。

規制を可能にしたのは地方分権だ。国が握っていた介護施設の指定権限が2012年度、都道府県と政令市、中核市に移譲された。

神戸市には「サービスの多様化に水を差す」との慎重論もあったが、最終的に久元喜造市長が条例案の提出を決断。9月24日、市議会で可決した。

県にも7月、同様の業者から申請があり、規制条例を10月9日に制定。いずれも検討から3～4カ月の“スピード規制”だった。

神戸市、県とも「利用者のギャンブル依存の予防」を理由にあげる。ただ、長時間利用の線引きがあいまいな上、そもそも規制条例を制定する根拠が不十分といった声もある。

神戸市と県はアミューズメント型を認める自治体や国の意見を聞き、関東の同型施設を視察。だが「具体的な問題事例を把握したわけではない」とする。

県は、規制の基準が分かりにくいとの声を受け、「ゲームをする時間がサービス利用時間の半分以上」といった一定の基準を県内市町に伝える方針だ。

一方、アミューズメント型が2カ所ある横浜市の担当者は「レクリエーションはカラオケなど事業者ごとに多様で、ゲームも創意工夫の範囲内。適正な機能訓練が行われず、ゲームだけが目的になっていれば改善指導が必要だが、現時点では条例の基準内」とする。

厚生労働省は「デイサービスは本来、自由度の高い事業。国がサービス内容を規制する考えはない」とする。

県内では尼崎、西宮、姫路市が規制条例の対象とならず、進出可能な“空白区”。3市の担当者は「線引きが難しく、規制するかどうか未定」とする。

【神戸市と兵庫県の規制条例】 「カジノ型」や「アミューズメント型」と呼ばれる介護施設を対象に全国で初めて制定。射幸心や依存性を高める恐れのある遊技を長時間提供▽疑似通貨の使用▽賭博や風俗営業を連想させる広告の掲示の3点を禁止。神戸市はデイサービス施設、兵庫県は同施設と特別養護老人ホーム、介護老人保健施設が対象。

運動や合唱楽しんで 高齢者向けに期間限定カフェ 大阪日日新聞 2015年11月25日

大阪市北区の天神橋三丁目商店街が運営するフリースペース「天三おかげ館」に、高齢者が憩いセミナーや介護予防運動、合唱などを楽しめる「スマイルプラスカフェ」が期間限定でオープンした。高齢者の生活の質の向上や居場所づくりに加え、地域のボランティア人材の育成によって“地域の課題を地域で解決する”実験的な取り組みだ。

入り口で出迎えてくれるのは、会話のできるコミュニケーションロボット「PA（パ）L（ル）RO（ロ）」。中に入ると、細長いスペースに白いいすとテーブルが設置され、ちょっとした“カフェ”になっている。壁には朗らかにほほ笑むおばあちゃんらの写真が飾ってあり、心が和む。

■ITを駆使

カフェを手掛けるのは「スマイル・プラス」（大阪市西区、伊藤一彦社長）。介護現場における高齢者向けのレクリエーションを通じて、高齢者と介護に携わる人の双方をサポートしている。

大阪府の本年度の「商店街サポーター創出・活動支援事業（課題解決プラン事業）」に採択され、同商店街や府商工労働部の支援を受けて初めてカフェに取り組んだ。地域活性化事業に力を入れている大阪シティ信用金庫企業支援部もコーディネートで、ネスレ日本はコーヒーマシンを提供するなどして同事業を支援している。

店内にはITを使った介護レクリエーション動画配信機器を設置。講師を招いて1日3回のレクリエーションプログラムを行う。コーヒーも提供し、座って踊る「健康ダンス」やアクセサリーの手作りで体や手先を動かしたり、介護予防術を学んだりできる。すべて無料（材料費が必要なプログラムもある）だ。

■資格取得も

「スマイル・プラス」は昨年9月からレクリエーション介護士を育成している。同介護士は、介護や高齢者に対する基礎知識を学び、趣味や特技を生かして介護の一環としてのレクリエーションを企画・提案・実施する。現在までに5千人以上が資格を取得した。

同カフェには有資格者が常駐。来年1月には介護レクリエーションやボランティア活動に興味がある人を対象にした資格取得プログラムも予定している。

伊藤社長は「3カ月の実績を踏まえ、他地域での展開方法を探っていきたい」。同商店街の土居年樹理事長も「これまで商店街としてできなかったことを積極的に取り入れていくことで活性化につながれば」と期待を寄せる。

2016年1月まで月4回開店。11月は残り25日だけ。午前10時～午後5時。

「都構想継続」けん制 維新は「協調」強調

大阪日日新聞 2015年11月25日

大阪市議会では24日、各会派による議員総会や幹事長会談などが行われた。吉村洋文新市長の誕生を受け、今後の市政運営を協議した。

「柳本ロスですよ」。自民の黒田當士幹事長は力なく笑う。落選した柳本顕さんは元市議団幹事長であり、「20勝投手を失ったようなものだ」と黒田幹事長。今後については「新市長は粘り強く合意形成していくとしているので、その通りにしてほしい。対応は所信表明を聞いてから」とした。

吉村新市長の下で、都構想議論は継続することになる。しかし、各会派の受け止めは厳しい。

黒田幹事長は「都構想は1丁目1番地から、6丁目6番地になった」と、吉村新市長の公約集を基にけん制。自主投票に回った公明の明石直樹幹事長も「都構想が否決された事実は変わらない」。共産の山中智子幹事長は「不毛な制度論に時間を掛けるのは違う」と言い切った。

維新の大内啓治幹事長は「各党も市民の意思として、重く受け止めていると思う」とした上で、「これまでの確執を抜きにして、市政をスタートさせていきたい」と協調姿勢に徹した。

都構想「3年で修正案」 吉村氏、住民との対話重視

大阪日日新聞 2015年11月25日

22日に投開票が行われた大阪市長選挙で初当選した吉村洋文氏（40）が24日、報道各社のインタビューに応じた。大阪都構想への再挑戦や市営交通の民営化、今後の新たな取り組みについて語った。

－都構想の修正案にはどう取り組んでいくのか。

「住民との対話を通じ、その上で政治判断で3年で修正案を作る。5区案をベースに住民の皆さんがどこに不安と不満を感じ、どう変えたらいいかを聞いていきたい。前回の住民投票を振り返ると、一方的なところがあった。役所ベースで設計図を作って強行に進めた部分もある。強引だという（市民の）思いを払拭（ふっしょく）できなかったのが否決の大きな理由。5区案は総務省のOKも出た良い案だ。急速な改革に不安を感じる市民も、説明を繰り返せば理解してくれると思う。維新VS反維新の構図を作らないようにしたい」

－修正案はあくまで大阪市の分割か。

「周辺市を巻き込むと、またゼロからのスタートになる。理想は周辺市を入れた『グレート大阪』だが、今の段階からやると大阪市のこともできなくなり、政治的にも成り立たない。都構想が成立した段階で堺市を組み込めるようにすればいい」

－市営交通民営化については。

「自民は市長選で市の100%子会社化と言っていた。自民の理解を得て、合意できる範囲で民営化プランを作成したい」

－独自に打ち出していきたい点は。

「大阪の良さを国内外に発信していくということが少なかつたと思う。外に発信することをしていきたい」

－大阪会議については。

「自民主導の会議。こちらが積極的に開催に動くことはない。問題が解決できるのなら継続してもいいが、会議そのものに根本的な疑問を持っている」

名前付けられない関係描く 劇作家 久野 那美さん

大阪日日新聞 2015年11月25日

幼いころから本が好きで、童話を書いて賞をもらったりしていた。初めて見た舞台は野田秀樹主宰「夢の遊眠社」の作品。「言葉でできることとできないことの両方が同じくらい、同じ場所にあることが面白い」という演劇への興味が増し、高校、大学時代没頭する。

19歳のときに初めて書いた作品が第4回テアトロ・イン・キャビン戯曲賞佳作に選ばれ、大学卒業後も舞台やラジオドラマなどの台本を書いたり、自身の作品を上演するユニットを作品ごとに結成するなどして舞台を作ってきた。

初ユニットは1997年の「箱の階」。上演した「パノラマビールの夜」が第5回OMS戯曲賞佳作などを受賞する。以降「船の階」「山羊の階」「道の階」「缶の階」「空の階」そして来年1月には「Recicle缶の階」のユニット名で4日間8公演を予定している。

毎回スタッフや俳優を一から募って舞台上演に向かうのは大変な作業だが、「作品を気に入ってくれた人と一緒に創り上げたい」という思いからこのスタイルを取る。こだわるのは「オファーの時に必ず台本を渡すこと」。作品ありきでスタートさせる。

舞台で描くのは、「関係」だ。「パソコンをたたくキーボードと指の関係とか、積まれた紙の一番上の紙と一番下の紙の関係とか、名前を付けられないような関係」と説明する。「関係に始まりと終わりをつくと物語になる。異常なことを、テレビドラマみたいなしゃべり方で普通にやりたい」

始まりと終わり、そして登場人物に名前を付けないことにもこだわる。そこが「石に名前がなく、終わり方を当事者で決める囲碁の世界に通じる。囲碁をモチーフにした作品を作りたい」。膨らむ構想に心を躍らせる。

豊中市在住。

大商会頭の佐藤茂雄氏が死去 京阪最高顧問 観光や医療を振興

共同通信 2015年11月24日

大阪商工会議所の会頭で、京阪電気鉄道最高顧問の佐藤茂雄（さとう・しげたか）氏が20日午後4時23分、肺炎のため病院で死去した。74歳。大分県出身。葬儀・告別式は近親者で行った。喪主は妻律子（りつこ）さん。大商と京阪電鉄が後日、お別れの会を開く。

佐藤氏は過労を理由に、10月下旬から3週間程度を予定として検査入院し、大商は11月20日、尾崎裕副会頭（65）＝大阪ガス会長＝が12月に会頭へ昇格する人事を内定したと発表していた。

佐藤氏は1965年に京阪電鉄入社。取締役、常務などを経て、2001年社長に就任した。13年6月から最高顧問。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行